

令和9年度広島県地域間幹線系統確保維持計画について

1 趣旨

国が定める地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱に基づき、当該補助金の交付を受けて広域的・幹線的なバス路線を確保・維持するため、別紙のとおり「広島県地域間幹線系統確保維持計画」を策定する。

なお、協議会の承認を得られた場合は、県において、「広島県地域公共交通ビジョン別冊」の「4 運行を確保・維持する系統一覧」を更新する。

2 補助概要

(1) 運行費補助

複数市町をまたがる系統について、補助要件（輸送量、運行回数等）を満たすものに対し、赤字部分の一部を補助

(2) 車両減価償却費補助

運行費補助の補助対象系統を運行させるために必要な、車両購入費用等に対する補助

3 計画概要（資料：表1、表6）

補助対象期間	運行費補助			車両減価償却費		
	事業者数	系統数	申請額	事業者数	車両数	申請額
令和9年度 (R8.10.1～R9.9.30)	15 事業者	54系統	363,235 千円	8 事業者	56台 (うち新規：14台)	89,072 千円
【参考】令和8年度 (R7.10.1～R8.9.30) ※R8.6時点 (計画変更反映後)	15 事業者	55系統	328,114 千円	7 事業者	48台 (うち新規：11台)	75,739 千円
増減 (令和8年度比)	－	▲1系統	+35,121 千円	+1事業者	+8台	+13,333 千円

【前年度との比較】

○運行費補助

・補助対象外となったもの

会社名	系統	理由
広島電鉄	熊野（広島バスセンター～矢野駅前） 熊野（済生会広島病院前～絵下山下）	系統再編に伴う系統の廃止。
JRバス中国	C109 C164	系統再編により、運行回数が減少し、補助要件を満たさなくなったため。

- ・補助対象となったもの

会社名	系統	理由
広島電鉄	熊野（熊野萩原車庫前～矢野駅前） 熊野（熊野萩原車庫前～済生会広島病院前）	系統再編に伴う系統の新設。
芸陽バス	畑賀系統	これまでも補助対象の要件を満たしていたが、事業者において精査を行った結果、当該系統を新たに申請することとしたため。

○車両減価償却費補助

- ・補助対象となったもの（R9 年度からの新規申請）

会社名	系統	理由
石見交通	広益線・新広益線	車両の老朽化が進み、補助金を活用し車両を更新することとしたため。

4 生産性向上の取組（資料：別紙 1）

国補助要綱に基づき、次のとおり計画する。

取組項目		事業者数	系統数
A	貨客混載	3 事業者	4 系統
	路線再編	9 事業者	36 系統
	混乗化	2 事業者	2 系統
	観光需要の取込み	8 事業者	21 系統
B	輸送量要件下限近辺の系統に係る検討	5 事業者	22 系統
C	回数券等購入の系統に係る検討	該当なし	該当なし
D	上記以外の地域の実情に応じた取組の検討	2 事業者	9 系統

※取組の評価は、補助事業終了後（R9.1 頃）に事業評価を実施予定。

5 事業の目標（資料：別紙 2）

ビジョン別冊「5 定量的な目標及び評価指標」に基づき、補助対象系統別の目標を、別添「補助系統に関する定量的な目標」のとおり定める。

※取組の評価は、補助事業終了後（R9.1 頃）に事業評価を実施予定。

6 要件緩和（資料：別紙 3）

輸送量の補助要件（15 人以上）を下回る系統について、特例として補助対象とするもの。
（令和 9 年度計画は「1 日あたり 10 人以上」が対象）

なお、来年度（令和 10 年度計画）からは、要件緩和が撤廃され、本来の要件である「1 日あたり 15 人以上」の輸送量が必要となる。